

守れ9条!

こんにちは！日本共産党の

# 大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2006年12月21日

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona\_toukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

## ゴミ袋指定に関する村の説明について、お知らせいたします



〔 12月7日付号の続き 〕

12月7日付けでは、事業名・事業開始予定・事業費・現状・目的・効果・袋の内容・販売予定価格についての説明までご報告いたしました。今回は残りの説明についてご報告いたします。

なお、紙面で報告できる内容は説明を受けたものすべてではありません。説明の本質がずれない範囲（大名判断）で削除した分がありますことをご了解頂きたいと思っております。

**販売の形態** 環境政策課（清掃センター）が商工会にゴミ袋の配布等の業務を委託し、商工会が取りまとめをして各小売店に販売する。なお、販売店については、販売を希望する村内の小売店を広く募集する。

### 近隣自治体の指定袋の価格

45㍻ 15円/枚 那珂市

45㍻ 20円/枚 ひたちなか市

45㍻ 30円/枚 常陸太田市 日立市 高萩市 北茨城市 水戸市

30㍻ 20円/枚 日立市 高萩市 北茨城市

20㍻ 10円/枚 ひたちなか市 20㍻ 12円/枚 那珂市

20㍻ 13円/枚 日立市 高萩市 20㍻ 15円/枚 常陸太田市 北茨城市 水戸市

10㍻ 10円/枚 水戸市

（東海予定価格 45㍻ 20円/枚 30㍻ 15円/枚 20㍻ 10円）

（茨城県内最高価格 石下町 45㍻ 50円/枚 最低価格 那珂市 45㍻ 15円/枚）

### 住民還元事業について

ゴミ袋指定の実施に伴い、住民に対し次のサービスを提供する。

#### （1）住民個人に対する事業

介護保険サービス利用者及び支援費サービス利用者に対する個別収集の実施

配食サービス・独居老人世帯等の個別収集

（今後、予算・車・人員等の調整がついた段階で実施）

#### （2）住民全体に対する事業

可燃ゴミの休日（祝祭日）収集の実施（カレンダーに沿った収集業務に実施）

試行期間中（3ヶ月間）の指定ゴミ袋の無料配布

これらの事業の他にも、実施可能な者から随時協議し実施していく。

## 袋指定の効果

- 住民のゴミ減量意識や発生抑制意識の高揚
- 生活ゴミの減量化及び資源物の増加
- ゴミ分別意識の高揚
- ゴミステーションの環境美化
- ゴミの排出量に応じた負担になるため、支出の公平化が図れる。
- 指定による回収能力のアップ
- 収集業務の安全確保
- 危険物混入がなくなる
- 施設の延命化
- 財政負担の軽減
- 他市町村からのゴミ持ち込みの防止・・・・・・・・指定化に関する予算については来週！



## 12月議会 私の一般質問から 要約ですが

————— この質問の続きは、また来週ご報告いたします —————

### 大名 ゴミ袋指定化問題についてお聞きします。

袋指定化の目的としているゴミ資源化の促進と住民の排出ゴミの減量及び資源物分別等の意識の高揚については、ゴミ問題の一側面の解決を図るには重要。しかし、そのためになぜ袋指定なのか。本村の廃棄物の総合計の推移は次のとおりで、この7年間で約4,552トンの増量。

- 1999年度 約17,149トン
- 2000年度 約15,599トン（資源物12種類の分別収集開始）
- 2001年度 約16,030トン
- 2002年度 約21,548トン
- 2005年度 約21,702トン（7月からその他の廃プラ収集を開始）

また、危険物の混入の防止は、普通の透明袋でもよいのでは。リサイクルさえすればゴミが増える一方でいいのか。村民の意識の高揚のために、痛みを押しつける方法をとるのは評価できない。これらにより袋指定は中止すべきと考える。この問題でさまざまな立場から議論する村民シンポを開催してはどうか。

### 経済環境部長 指定化した全国の自治体で90%近くの自治体が減量化と報告

大きな理由は、住民のゴミに対する意識の持ち方の変化。透明袋を使わずとも混入しないという意識の持ち方が大切。本村は分別回収では近隣自治体間で先進地。その一方で資源ゴミや危険物の混入も事実。4月には爆発事故も発生。

袋指定により、住民にとって負担と感じない程度の負担で、分別やリサイクルの意識も高揚しゴミになる物は買わないなどの努力がすすみ、減量につながると期待する。

国も各法律を制定し、ゴミの発生抑制やリサイクルに取り組み、村も生ゴミの堆肥化や廃食油のBDF化等、資源化に取り組んでいきたい。今後、説明会を開く予定でシンポは考えていない。